

事務事業評価シート(補助金事業)(平成27年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	補助事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
32411	辰野町衛生自治連合会補助金	住民税務課	生活環境係	赤羽 博	千田 茜	
		一次評価年月日	平成 28 年 6 月 24 日	連絡先(内線)	2115	
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0404	環境衛生事業	
		<input type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)		3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり
		節	(コード選択)		2節	快適なまちづくり
		項[基本施策]	(コード選択)		4項	住環境保全活動の推進
		目[主な施策]	(コード選択)		1目	環境美化の推進
	関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/>	第五次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他
	補助金の期間	<input checked="" type="checkbox"/>	単年度	<input type="checkbox"/>	継続 (開始)	年度 ~ (終了予定) 年度
	補助金の性質	<input type="checkbox"/>	事業費補助	<input checked="" type="checkbox"/>	団体運営費補助	<input type="checkbox"/> 大会運営費補助 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他()
補助金の交付基準	<input type="checkbox"/>	法令	<input type="checkbox"/>	条例規則	<input checked="" type="checkbox"/> 要綱等 <input type="checkbox"/> 契約書 (規則等の名称:)	
補助金の算定方式	<input type="checkbox"/>	予算補助	<input type="checkbox"/>	決算補助	<input type="checkbox"/> 定率補助 <input checked="" type="checkbox"/> 定額補助	
補助金の財源内訳	<input checked="" type="checkbox"/>	町単独補助	<input type="checkbox"/>	国・県補助あり	(町 / 10) (県 / 10) (国 / 10)	

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/>	一部事務組合等	<input type="checkbox"/>	公益法人	<input checked="" type="checkbox"/>	企業や団体	<input type="checkbox"/>	個人
--------------------------	---------	--------------------------	------	-------------------------------------	-------	--------------------------	----

(交付団体名 : 辰野町衛生自治連合会)

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

辰野町の環境行政に協力をいただき、公衆衛生の普及と向上をはかり、町民が健康で文化的な生活を営むことができる環境をつくる。

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	各地区の環境、衛生活動の活動助成として補助金を交付
2	各地区の収集ステーションの管理・運営、530清掃、有害ごみ等の収集協力実施。ごみ処理施設等の視察及び出前講座によるごみ・資源物の適切排出の周知活動及び意見交換等の実施

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		26年度	27年度	27年度(見込み)	達成率	27	年度(見込み)
① 指標名	各地区への報償金を交付	円	348,080	347,308	361,000	0.96	361,000
① 説明	各地区の環境、衛生活動の活動助成としての補助金を交付する	算出方法・計算式・目標値設定の考え方	各区の戸数、隣組数に基づき報償金を算出				
② 指標名	住民への適切な分別収集、排出の周知及び処理施設等への視察	回	8	3	3	1.00	3
② 説明	適切な分別収集の周知を図るために施設の視察及び、排出説明会等を実施	算出方法・計算式・目標値設定の考え方	計画収集の実績量や、排出の問題点を踏まえて検討する				

(4) 交付額実績 / 計画の推移 [Do2]

		平成25年度			平成26年度			平成27年度								
事業費(円)		660,606			686,924			610,577								
補助率(町負担分)		101.4%			94.6%			98.3%								
町交付額(一般財源)(円)		670,000			650,000			600,000								
財源内訳	特定財源	国庫支出金														
		県支出金														
		地方債														
		その他														
一般財源		670,000			650,000			600,000								
人件費の概算											平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度見込み			
対前年比											(千円)	1,691	1,679	1,613		
											%	/	99.3	96.1		
		課長			課長補佐			係長			一般職員			延べ人数		
		H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27	H25	H26	H27
町職員(正規職員)		0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.00	0.25	0.25	0.25	0.27	0.27	0.28
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
											(千円)	0	0	0		

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

妥当性	1. 町民のニーズはありますか(補助金の交付を受ける活動が、町民に求められていますか)	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由}	ごみの減量化・資源化、リサイクルの推進、正しいごみの排出方法を各区の衛生理事を通して住民に周知徹底することにより、快適なまちづくりを推進する必要がある
	2. 社会情勢上必要ですか	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由}	活動を通して、町内のごみ排出量を抑制すると同時にリサイクルを推進し、循環型社会への移行や温暖化防止等、環境保全に向けた取組を今後も推進していかなければならない
	3. この補助金は広く町民のためになっていますか	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由}	活動によって、収集ステーションを始め町内の環境衛生を適切に保ち、住みやすい環境づくりを推進している
	4. この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由}	ごみや資源物の排出方法を住民に周知することにより、ごみの収集段階から最終処分までに生じる過度の経費を縮小させ、住民の排出負担を抑制していく必要がある
有効性	5. 事業の効果が具体的に把握できていますか	B	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由}	定期的に各地区の衛生自治連合会の理事に対して、収集ステーションの適正排出の調査を行っている
	6. 補助金を交付することで期待された効果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由}	衛生自治連合会の活動により、年々収集ステーションへの不適切な排出等のトラブルは減少傾向にある。また、ごみの減量化やリサイクル化に対する住民の意識も向上してきていると思われる
公平性	7. 対象者すべてに補助金が交付されていますか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由}	廃棄物の適切な排出等の住民への広報・周知活動や、収集ステーションの管理・運営の補助等全町民を対象に行っている
その他	8. これまでに見直しの実績はありますか	A	A 補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由}	27年度に5万円減額
	9. 補助金等の交付により、町にどのようなメリットがありますか		衛生自治連合会の活動の中で、廃棄物の適切な排出を推進することにより、町の廃棄物処理に係る経費を抑制することができる。あわせて住民の環境衛生に対する意識向上を図りながら、住みよい環境づくりを一層推進する事ができる		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **□を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	28年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
衛生自治連合会の役員は必ず各地区に存在し、地域密着の組織である。環境美化、公衆衛生、ごみの減量化、リサイクル化等の必要性を、今後も住民に対して周知していく	[反映内容]	補助金額の減額			

(7) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
各区内で環境美化、公衆衛生、530運動、分別収集等活動を行っていただいている。組織的には単年度で活動しているので、活動に見合う分を予算化し、繰越金相当分は補助金を減額する検討が必要。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 □を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ b 上記〈今後の展開方針〉 a ~ c を選択